

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	ご利用者やご家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携し、安心して納得のいく生活や終末期ケアができるように取り組んでいるが、基準となる指針がないこと。	看取り介護に係わる指針を作成する。	ご利用者やご家族が安心できるように、具体的なケースを想定し、事業所としてできることと困難なことを見極めながら、職員の不安や他のご利用者への影響も考慮しながら体制を整える。	3ヶ月
2	35	地域の消防団の協力の下、隣接事業所と合同で年2回の防災訓練を実施し、夜間の通報訓練も継続しているが、ほのぼのホームでの夜間想定避難訓練を実施していないこと。	夜間を想定した避難誘導について検討し、実際に訓練を実施する。	一人ひとりのご利用者の状況を踏まえ、災害時の具体的な避難策を検討する。特に夜間の避難誘導について話し合い、職員が落ち着いて対応できるように実技訓練を実施する。	6ヶ月
3	36	ホーム内が仕切られることなく開放的であるが、ともするとご利用者の個人情報に係わる書類まで目に触れてしまうおそれがあること。	ご利用者の個人情報であることを再度認識し管理を徹底する。そして記録物の収納スペースを用意する。	ご利用者の個人情報に係わる記録物の日常的な収納場所等について職員間で検討し、スペースを用意する。	1ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。